

**製品名: BID マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM80978**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	22kDa

**抗原情報**

遺伝子名	BID
別名	FP497; MGC15319; MGC42355; BID
遺伝子 ID	637.0
SwissProt ID	P55957
免疫原	大腸菌で発現したヒト BID の精製組換え全長タンパク質

**背景**

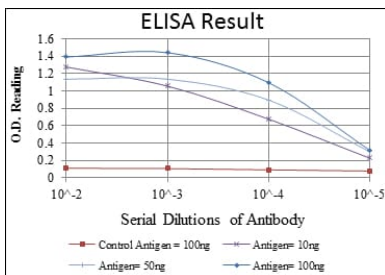
この遺伝子は、アゴニスト BAX またはアンタゴニスト BCL2 のいずれかとヘテロ二量体を形成する細胞死アゴニストをコードしています。コードされているタンパク質は、細胞死制御因子 BCL-2 ファミリーのメンバーです。これは、カスパーゼ 8 (CASP8) によ

で誘導されるミトコンドリア損傷のメディエーターです。CASP8はこのコードされているタンパク質を切断し、COOH末端部分がミトコンドリアに移行してシトクロムcの放出を引き起こします。複数の選択的スプライシング転写バリエーションがみつっていますが、一部のバリエーションの完全長特性は定義されていません。組織特異性: アイソフォーム2およびアイソフォーム3は、脾臓、骨髄、大脳皮質および小脳皮質で発現します。アイソフォーム2は、脾臓、膵臓、胎盤で発現します (タンパク質レベル)。アイソフォーム3は、肺、膵臓、脾臓で発現します (タンパク質レベル)。アイソフォーム4は肺と膵臓で発現している (タンパク質レベル)

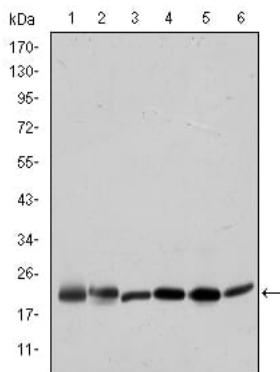
## 研究分野

アポトーシス

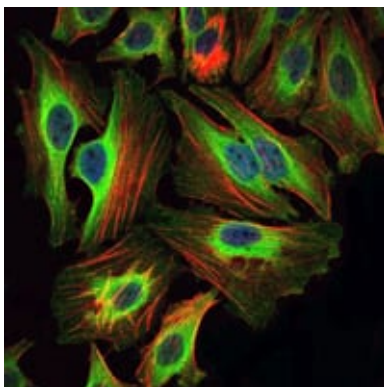
## 画像データ



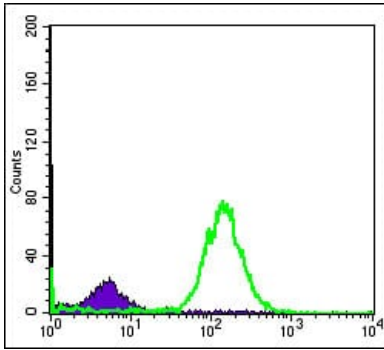
赤: コントロール抗原 (100 ng); 紫: 抗原 (10 ng); 緑: 抗原 (50 ng); 青: 抗原 (100 ng);



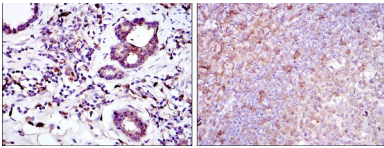
Hela (1)、A431 (2)、Jurkat (3)、A549 (4)、HepG2 (5)、および HEK293 (6) 細胞溶解物に対する BID マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



BID マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



BID マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (紫) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による BID マウス mAb を使用した、パラフィン包埋ヒト前立腺組織 (左) と扁桃腺組織 (右) の免疫組織化学分析。